

特集／安藤 真理子 土浦市長 2期就任インタビュー

『夢のある、元気のある土浦』の実現

～子育て支援の充実や地域経済の活性化に力～



DX土浦延伸を前進

小・中校の長寿命化実施へ

昨年10月の2期目の当選を果たした安藤真理子土浦市長。新型コロナウイルス感染症と戦いながら、様々な計画の策定に取り組み、種々を進めた1期目。2期目の4年間は、大輪の花を咲かすべく、施策に取り組み、子育て支援の充実や地域経済活性化に力を注ぎ、土浦市民の夢である「くはエクスプレス」(DX)延伸の実現に尽力。「夢のある、元気のある土浦」の実現に意欲を燃やす安藤市長の2期目の展望を聞いた。(聞き手：小泉孝司代表取締役)

2期目の抱負

就任して間もなく、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた。1期目の4年間は、感染症から市民の皆さまの健康、生活、そして命を守り抜くため、闘ってきた。ただし、コロナ対策以外にもさまざまな計画をじっくり練るなど、やることは多かった。これからの4年間は、1期目で咲いた種の花を咲かせることに力を注ぎたいと考えている。コロナ収束後の新しい時代の中で、市民の皆さまがより一層豊かに暮らしていけるよう、すべての皆さまに寄り添っていき。市民くらし満足度ナンバーワンにあたりたい。ふるふる土浦市政の実現に向けて、果敢にチャレンジしていく。

子育て支援について

重点事業としてまずは子育て支援の充実に取り組みたい。本市では急激な物価高騰に伴う経済的負担の軽減を図るため、全ての市立小・中・義務教育学校へ通う児童生徒の学校給食費の無償化を行った。また私が就任した当初は公立保育所の民営化が進んでいない状況であったが、保育サービスの確保や保育環境のセーフティネットとしての役割を担う公立保育所は今後も必要であるという、公立保育所4施設は今後も引き続きその役割を担うこととしている。また、施設は昨年10月に幼児連帯型の「土浦市立認定こども園土浦幼稚園」として開園している。

IC周辺事業化

IC周辺事業化に向けては、事業者へのヒアリング等を踏まえて、事業手法や地区整備方針等を検討し、取り組む。今後は導入施設、事業手法、地区整備方針の検討等を進め、基本構想案を策定していく予定。また、桜土浦インターチェンジ周辺の開発を進めていく。桜土浦インターチェンジ周辺地区では23年5月に地権者組織が立ち上がったことから、地権者組織を中心に土地整理事業の勉強会等を行い、現在、仮同意の取得を進めている。今後は土地整理事業化に向けて、調査を進めるとともに、合意形成を図っていく。土浦北インターチェンジ周辺地区においても、地権者の土地利用の意向把握を行うとともに、企業の動向を注視しながら、周辺環境を整備していく。

市内の道路などインフラ整備について

道路ネットワーク強化による物流・防災機能の向上を目指して、荒川沖木田線4車線化を進めている。また、市民の憩いの場であるとも、歴史的資源でもある鶴城公園(土浦城址)を活用し、交流人口の拡大を図る。24年度には施設の新築事業を実施。この更新工事やイベントなどを進め、多くの来訪者に「この地に以前土浦城があった」ということを認識してもらいたい。

入札制度のあり方について

本市の入札の方式は一般競争入札と指名競争入札があるが、工事等においては一般競争入札を原則としており、予定価格については原則事前公表し、公正性と透明性の確保に努めている。入札に付する条件として、地域要件や実績要件等があるが、地域要件は競争性の確保を前提として地域経済活性化、地元事業者の育成等を図るため、市内発注を原則としている。大規模案件についてもJV発注とすることで地元事業者育成へ受注機会を確保し、取り組んでまいりたい。

建設業界へのメッセージ

建設業界においては、2024年問題とされる建設業における時間外労働の削減が課題となっている。皆さまが「仕事が忙しくて困る」と思っている方も多いと思う。建設業界は、建設現場の安全確保を第一とし、入札関係事項をしっかりと守ってまいりたい。

安藤 真理子(あんどう まりこ)1960年(昭和35年)11月18日生まれ。63歳。成城大学短期大学部卒。土浦市議会議員(2期)、県議会議員(2期)を経て2019年の市長選挙で初当選を果たした。



業者育成へ受注機会を確保し、取り組んでまいりたい。また、実子保証を導入し、労働時間短縮に寄与すべく段階的に取り組んでいく。また、工事関係においては、週休2日工事やIC工事、快適トイレ等の労働環境の改善に努めるものに対しても順次対応していく。土浦市が「選ばれるまち」にならなければいけないように建設業もこれからは「選ばれる企業」にならないといけない。そのためには、最低制限価格制度を定める企業にしなければならない。われわれも微力ながら協力させていただきます。

建設業界へのメッセージ

建設現場においては、2024年問題とされる建設業における時間外労働の削減が課題となっている。皆さまが「仕事が忙しくて困る」と思っている方も多いと思う。建設業界は、建設現場の安全確保を第一とし、入札関係事項をしっかりと守ってまいりたい。

能登半島地震災害義援金

東海村建設業協同組合(澤島 弘樹理事長)写真中中央は令和6年能登半島地震を受けて、災害義援金10万円を東海村に寄付した。9日に澤島理事長、大城辰也副理事長(写真左)、が村役場を訪れ、山田修東海村長(写真右)に目録を手渡した。

被災地の災害復旧へ

東海村建設業協同組合(澤島 弘樹理事長)写真中中央は令和6年能登半島地震を受けて、災害義援金10万円を東海村に寄付した。9日に澤島理事長、大城辰也副理事長(写真左)、が村役場を訪れ、山田修東海村長(写真右)に目録を手渡した。

視線誘導標ガイドポスト

北茨城市へ計72本寄贈 NOK(株)／道路環境整備の活用に

視線誘導標ガイドポスト受領式を開催。牧野利英樹(市長)と、豊田裕北茨城市長が出席し、豊田裕北茨城市長に目録を手渡した。



視線誘導標ガイドポスト受領式を開催。牧野利英樹(市長)と、豊田裕北茨城市長が出席し、豊田裕北茨城市長に目録を手渡した。

公園敷地を拡張

日立市は、南ひた野公園(石名坂町1-4)の整備を計画している。公園の敷地面積の拡張を計画しており、工事に向けた測量調査業務は、日立市が担当する。現在の公園の広さは69.6m。

坂東市に倉庫等新築

建築資材の購入・加工および販売を主とする事業とするポラテック(株)の玉置越谷市新築倉庫1棟、2棟は、坂東市内で倉庫・付属管理事務所の新築工事を進めている。設計および施工については、直営で行う。4月11日までの完成を予定している。

直営で4月11日頃完成

建築資材の購入・加工および販売を主とする事業とするポラテック(株)の玉置越谷市新築倉庫1棟、2棟は、坂東市内で倉庫・付属管理事務所の新築工事を進めている。設計および施工については、直営で行う。4月11日までの完成を予定している。

能登半島地震災害義援金

東海村建設業協同組合(澤島 弘樹理事長)写真中中央は令和6年能登半島地震を受けて、災害義援金10万円を東海村に寄付した。9日に澤島理事長、大城辰也副理事長(写真左)、が村役場を訪れ、山田修東海村長(写真右)に目録を手渡した。

東海村建設業協同組合(澤島 弘樹理事長)写真中中央は令和6年能登半島地震を受けて、災害義援金10万円を東海村に寄付した。9日に澤島理事長、大城辰也副理事長(写真左)、が村役場を訪れ、山田修東海村長(写真右)に目録を手渡した。